

イチイ科薬用植物雲南紅豆杉の概略について

Summary of “Taxus yunnanensis” obtained
from Taxaceae as medicinal plants

中村俊和、六條美智代

Toshikazu NAKAMURA, Michiyo ROKUJOU

六基食品株式会社

Rocky foods corporation

はじめに

秦の始皇帝が探し求めた不老長寿の仙薬のひとつが新生代第 4 紀氷河期から今日に至る厳しい大自然の風雪に耐えた地球最古の仙樹雲南紅豆杉である。

イチイ科薬用植物雲南紅豆杉は中国雲南省に自生する常緑の巨木で、抗癌剤であるパクリタキセル（商品名：タキソール）を初めとするタキサン型ジテルペンが樹皮・葉・根・種子及び枝等に含まれていることが報告されている。

こうしたことから雲南紅豆杉の木部は癌をはじめとする糖尿病等々の疾患の宮廷薬として用いられていたが、現在は中国の国家一級保護植物として伐採も売買も禁止されている為、近現代まで雲南紅豆杉の木部研究はほとんど行われていなかった。

1. 雲南紅豆杉の木部の抗癌作用について

- 雲南紅豆杉による癌細胞のアポトーシス誘導
- ①細胞分裂を中期から後期にかけて止める
 - ② FAS 抗原の発現
 - ③選択的抗癌性がある。癌細胞だけ分裂をとめ、正常細胞には作用しない。

2. 雲南紅豆杉の研究について

(1) 学会発表について

現在、京都大学で共同研究がおこなわれている他、富山大学、北里大学、金沢医科大学などで研究がなされている。

また、学会発表において癌については金沢医科大学、リウマチと花粉症とアルツハイマーについては

北里大学、C 型肝炎については（財）化学療法研究所附属病院、糖尿病と骨粗鬆症については富山医科大学（当時）、高血圧症については長春中医薬大がそれぞれの学会で発表されている。

(2) 論文発表について

雲南紅豆杉は以下の学術文献にて論文発表されている。

① JOURNAL OF NATIONAL PRODUCTS
2002 VOL.65

紅豆杉の新規天然物が大腸癌に有効

② PLANTA MEDICA
2003.6 活性酸素の消去

2004.1 肝臓保護作用

③ PHYTOCHEMISTRY
2003.7 抗癌作用

④ LIFE SCIENCES
2004 VOL.74 肝臓癌と肝炎

⑤ PHYTOMEDICINE
2006 VOL.13 37-42

骨粗鬆症に対する有効性

2006 VOL.13 109-114

血糖値降下作用

⑥ BIOL. PHARM. BULL.

2006 VOL.29

雲南紅豆杉の抗アレルギー活性

症例について

現在、雲南紅豆杉を様々な動物に使用し効果が得

られている。

- 1-顎にできた悪性腫瘍の犬に紅豆杉茶を3週間飲用したところ高度医療センターで腫瘍の消失確認
- 2-舌癌の猫にお茶を舐めさせて飲用させたところ2週間程度で癌が消失し、舌の形が変形しても

食事はとれ、約半年間延命した例

- 3-乳腺腫瘍の猫に濃縮した紅豆杉茶をヒルドイドに混ぜて塗る事で腫瘍が消失した例
- 4-余命半年の鼻腔内腺癌の犬に錠剤の飲用と丸山ワクチンを併用する事で3年半経過した現在も生存している例